

新年のご挨拶

智頭病院 院長 足立 誠司

町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

先日外来で70歳の智頭町同窓会をしたという話題があり、当時は同級生300人余りとお聞きしました。70年前の智頭町人口は1万4600人余りで、人口のピークを迎えた時代だったようです。ちなみに2023年度の智頭町人口は6200人余り、出生数は16人となっています。

智頭町のみならず、少子高齢化の中で人口減少が進行している日本では、福祉ニーズも多様化・複雑化しています。人口減による担い手不足や、血縁、地縁、社縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、人と人、人と社会がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える新たなアプローチとして、『地域共生社会』の実現が求められています。地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。今後しばらくの間は、人口増加を期待しつつ、智頭町の町民同士が縦横のつながりを大切にして、支え合う意識を高めていくことがさらに求められています。地域共生社会の実現をするためにできることは何かと想いを巡らしたとき、キーワードとして、昔の人がよく使っていた「おかげさま」と「おたがいさま」のことが思い浮かびました。

新年の挨拶に「おかげさま」「おたがいさま」のことが添えてみてはいかがでしょう。

町民の皆様のご健康とご多幸を祈念して、新年のご挨拶いたします。

賀年
謹新



今年も智頭病院をよろしくお願ひします。